

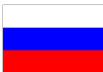
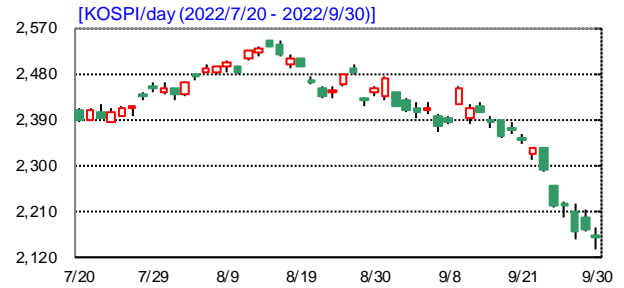


## 【韓国】 総合指数は週間で 5.9%安と大幅に 7 週続落、今週は 4 日間の取引

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 5.9%安と大幅に 7 週続落。週初の 26 日は英国が大型減税と借り入れ増額を発表したことを受けて世界的な景気後退への警戒感が強まり、前週末比 3.0%安と急落。翌 27 日は値ごろ感の出た銘柄を中心に買い戻しが入り、5 営業日ぶりに小反発したものの、28 日に反落。米アップルが新型 iPhone の増産計画を断念したとの報道を受けて電子部品メーカーの下落が目立った。29 日は米マイクロン・テクノロジーの決算発表を控えて半導体株が売られ、ほぼ横ばい。30 日は反落し、終値で 20 年 7 月 10 日以来、約 2 年 2 カ月ぶり安値をつけた。今週は 10 月 3 日が開天節で休場のため、4 日間のみの取引。米雇用統計をにらんで神経質な展開か。国内では 4 日に製造業 PMI、5 日に物価統計が発表される予定。

### ▼指数チャート

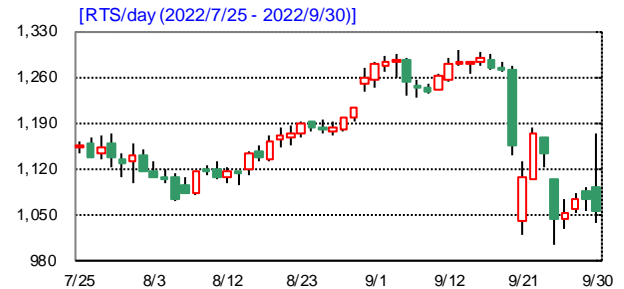


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で 7.5%安と大幅続落、今週は上値の重い展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 7.5%安と大幅続落。ロシアがウクライナに対して強硬姿勢を強めるとの警戒感が引き続き重しとなった。ウクライナのロシア支配地区で実施された併合のための住民投票や戒厳令発令への警戒感で急落した前週の流れを引き継いだ。週初の 26 日は前週末比 8.6%安と大幅に続落。素材、エネルギー株を中心に指数採用の全銘柄が下落した。27-28 日は反動で買い戻されたものの、週後半に再び続落。RTS 指数は 26 日に一時 1002.60 ドルと、4 月 27 日以来の水準まで下落し、1055.72 ドルで週を終えた。個別では産金のポリュスが 21.2%安と急落したほか、エネルギーのスルグトネフテガス、ロスネフチ、資源のノリリスク・ニッケル、鉄鋼のセヴェルスターリが 2 桁安となった。今週は上値の重い展開か。

### ▼指数チャート



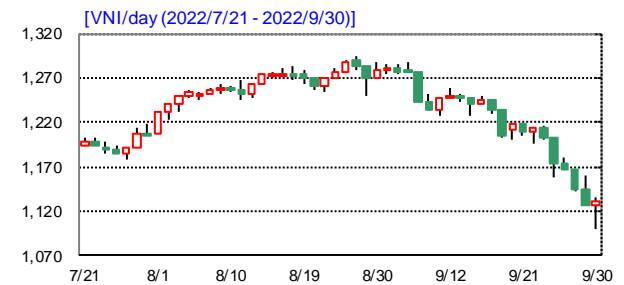
## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 5.9%安と大幅に 5 週続落、今週は引き続き軟

### 調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 5.9%安と大幅に 5 週続落。海外勢の売り越しを背景に主力株に売りが続いた。前週まで 4 週続落した指数は週明け 26 日に前週末比 2.4%安と大幅続落。先安観が強まり、出来高を伴って下落した。その後も海外勢の売り越しを背景に主力株が下落し、指数は 29 日まで 5 営業日続落した。指数は 30 日に一時 1099.44 ポイントと 2021 年 2 月以来の水準まで下落し、1132.11 ポイントで引けた。個別では不動産のビンググループが 12.1%安、ビンホームズが 11.4%安、カンディエン不動産が 10.4%安、エネルギーのベトナム石油総公社が 11.6%、ゴム製品のベトナム・ラバーが 10.5%安。食品加工のマサン・グループが 8.8%安、金融のベトインバンクが 7.2%安と下落し、指数を押し下げた。今週は引き続き軟調か。

### ▼指数チャート



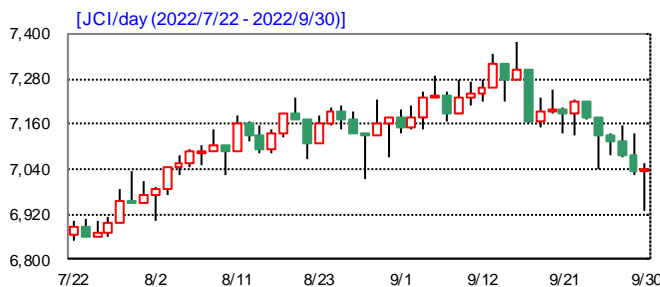


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.9%安、今週は 9 月の CPI 上昇率が焦点**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.9%安と反落。9 月月間でも 1.9%安。先週は国内の重要イベントが少ない中、世界的な景気減速に対する警戒感の広がりが見られ、週初めの 26 日は前週末の NY ダウが下落した流れを引き継ぎ続落。27 日は小幅に下値を広げると、28 日は米国の大幅利上げが継続されるとの見方が広がった影響で売られ、指数は終値で 7100 ポイントを割り込んだ。29 日も売り優勢の値動きが続き、終値で約 2 カ月ぶりの安値を更新した後、30 日には場中に一時 6900 ポイント台に下落したが、終値では 6 営業日ぶりに反発して取引を終えている。今週は 3 日発表の 9 月の CPI が焦点になりそうだ。

### ▼指数チャート

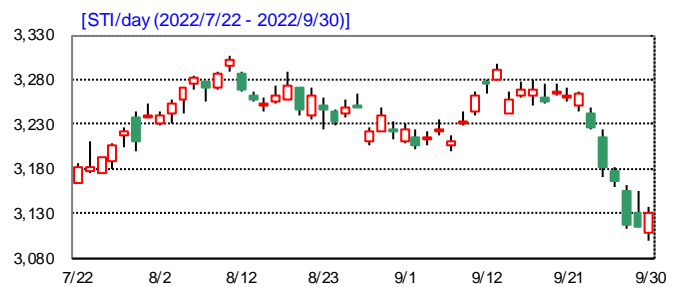


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 3.0%安、世界経済の減速懸念を嫌気**

ストレーツタイムズ指数は週間で 3.0%安と続落。9 月月間では 2.8%安。先週は週初めに終値で 3200 ポイントを割り込み、その後も軟調な値動きが続いた。26 日は 8 月の鉱工業生産が市場予想から上振れたものの効果は薄く、指数は前営業日比 1.4%安と続落。27 日も売り優勢の展開が続くと、28 日は世界経済の減速に対する警戒感が高まった影響で前日から 1.6%下落した。29 日は小幅に下値を広げ、終値で約 2 カ月半ぶりの安値を更新したが、30 日は銀行大手 3 行が指数上昇をけん引し、6 営業日ぶりに反発して引けている。今週は 3 日の取引終了後に 9 月の製造業 PMI、5 日に 8 月の小売売上高が発表される予定。

### ▼指数チャート

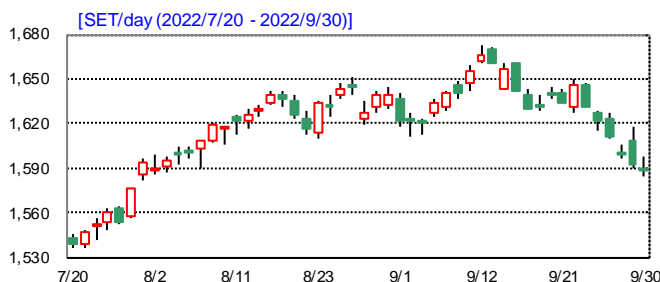


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.6%安、中央銀行が 2 会合連続で 0.25%の利上げを決定**

SET 指数は週間で 2.6%安と反落。9 月月間では 3.0%安。先週は前週末から下げ止まらず、週末まで 6 営業日続落した。週初めの 26 日は、8 月の貿易収支（通関ベース）の赤字額が市場予想を上回った影響などで続落。27 日は金融株が指数下落を主導すると、28 日は中央銀行が政策金利を 2 会合連続で 0.25%引き上げ 1.00%に設定したほか、今年の GDP 成長率見通しを 3.3%に据え置いたものの効果は限定的で、指数は終値で節目の 1600 ポイントを割り込んだ。週後半も買い材料に乏しくじりじりと下値を広げ、30 日は終値で約 2 カ月ぶりの安値を更新して引けている。今週は 5 日に 9 月の CPI が発表される予定。

### ▼指数チャート

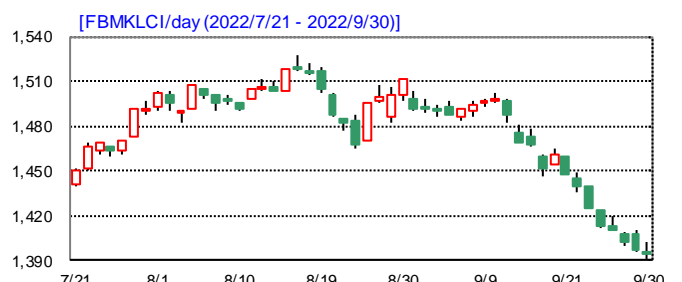


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.1%安、週末まで 8 営業日続落**

クアラルンプール総合指数は週間で 2.1%安と 3 週続落。9 月月間では 7.8%安。先週はじりじりと下値を広げ、週末まで 8 営業日続落と低迷した。週初めの 26 日は前週末の NY ダウが年初来の安値を更新した流れで 4 日続落。27 日は引け際に売り込まれると、28 日は米 FRB 当局者の発言を受けて大幅利上げが続くとの見方が広がり、米ドル高リンギ安の加速などが売り材料視された。29 日も下げ止まらず終値で 1400 ポイントを割り込んだ後、30 日は 20 年 5 月以来の安値を更新して引けている。今週も国内の重要イベントが少なく、米国の金融引き締めに対する動向が引き続き株式相場を左右する展開になりそうだ。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。